

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表 (東和町)

(平成29年1月末現在)

分野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回答
③庁舎建設	新庁舎建設が計画されているようだが、今ある庁舎を有効に利用した方がいいのではないか。	総務部 総務課	特別委員会で候補地選定や、建設の是非について議論中です。 執行部には、それぞれの支所を有効に活用するよう要請します。
⑥教育	小中一貫校、東和にできないか。	教育委員会 教育企画室	担当部署へ確認したところ、「学校再編につきましては、平成27年11月に策定した登米市立小中学校再編基本方針に基づいて進めてまいります。小学校・中学校とも、原則として各学年2クラス以上を適正規模の学校と考えております。」と回答がありました。
⑦公共施設、跡地利用	錦織小学校の屋根や外壁の塗装は、今実施しないと手遅れになり、経費も余計かかるようになる。	教育委員会 学校教育課	担当部署へ確認したところ、「市内の学校施設の修繕におきましては、児童生徒が安心安全に学校生活がおくれるよう、施設利用修繕計画を作成し実施しています。」と回答がありました。
⑩病院	米谷病院だが、新しく建ってもスタッフの問題は大丈夫か。また、接続道路や側溝の現地調査をし、整備をしてほしい。	医療局 総務課 建設部 土木管理課	担当部署に確認したところ、「現在の米谷病院の体制はベッド数49床で常勤・非常勤合わせて61名のスタッフにより運営しております。新病院整備後の体制はベッド数90床で必要スタッフ数は86名を予定しており、25名の増員が必要になると見込んでおります。 増員が必要となる職種は医師・看護師・看護助手であり、医師については東北大学や関係機関との連携を密にしながら確保に努めてまいります。また、看護師についても病院機能を維持するためには医師の確保と同様に重要な課題となっており、看護学生に対する奨学金貸付事業を実施していくとともに、就職情報サイトの活用など、積極的なリクルート活動にも取り組み、新病院の開院に向け計画的に採用を行ってまいります。 また、接続道路に関しては、当該路線は県が管理する県道東和登米線であることから、当該路線の今後の整備について確認したところ「当該路線の整備計画はなく、歩道の整備については、現在、登米管内において数箇所、交通安全対策事業を実施しており、その他にも通学路の歩道設置要望が多数あることから、現在行われている事業の早期完成を図ったうえで、交通状況を踏まえ優先順位により事業化を進めてまいります」とのことでありました。 当該路線は側溝の上を歩道として使用しており、ご指摘のとおり歩道幅員が狭いうえ、蓋版の劣化・損傷により縦断方向に凹凸などが生じている状況にあります。 市としましても整備が必要な箇所と捉えており、早期の歩道整備とあわせて、事業化まで時間を要するのであれば、通行に支障となる段差箇所の解消など必要な安全対策を行っていただくよう県に要望してまいります。」と回答がありました。
⑮上下水道	水道管接続、地元に説明がないまま配管工事が終わり、結果、水の味が悪くなったのはなぜか。	水道事業所 水道施設課	担当部署へ確認したところ、「合併時の計画において、東和町内の浄水場へ災害時等の水道水の相互融通を目的として緊急時用連絡管を整備する事業が、合併プロジェクトとして平成20年度から着手しました。実際に、豪雨等による原水水質の悪化により水道水の水質基準を超える恐れがあった場合に、保呂羽水系の水に切り替えを臨時的に行っております。なお、連絡管による水も水質基準を満たした安全な水道水です。」と回答がありました。
⑯河川管理、道路整備	震災後、国県道の整備が進まなくなったので、バックアップしてほしい。	建設部 土木管理課	国県道の整備について宮城県に確認したところ、「国県道の整備にあたっては、ほとんどの事業が国からの補助を受けて実施しています。しかし、改築系に係る国からの予算配分が少なくなっているため、県としては現在取り組んでいる事業の完了を最優先に考え取り組んでいます。また、県の単独事業を充てるなど工夫をしながら危険箇所の解消に向けて取り組んでいます」とのことです。 市としては、国県道の整備促進については、あらゆる機会を捉え関係機関への要望活動を今後も行っていくとのことです。 議会においても、市同様に要望活動を行っています。
	錦織から嵯峨立までの県道233号の整備に、目配りをお願いしたい。	建設部 土木管理課	道路を管理する宮城県に確認したところ、「県道東和薄衣線の整備については、毎年予算を確保しながら事業の推進を図っています。しかし、当該工事箇所は急傾斜地での施行であることから時間を要しており、現在においても平成26・27年度の繰越工事を行っているところです。また、本年度の工事を発注したところ入札不調になるなど、計画どおり事業が進んでいない状況にあります。県としても一日も早い危険箇所の解消に向け取り組んでまいります。」とのことです。 市としては、通行の安全を確保するうえで当該箇所の整備が必要であると認識されているので、機会を捉え県に要望していくとのことです。 議会においても、市同様に要望活動を行っています。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表 (東和町)

(平成29年1月末現在)

分野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回答
⑱観光、移住、定住	本市出身の東京介護老人者を受け入れて、医療費などは都の委託交付金で賄い、支援できないか。	福祉事務所 長寿介護課	ご提言として、拝聴いたします。
㉓空き家対策	だんだん地域の戸数が減り、町内会運営が難しくなった。空き家対策はどのようにしているのか。	企画部 企画政策課	空き家バンク制度があるものの、登録者が少ない状況です。市民皆さんに活用していただきたいと考えています。
㉗その他	プレミアム商品券【とめっこマネー】を、新たな道の駅など地元で使えるようにしてほしい。	産業経済部 商業観光課	担当部署へ確認したところ、「とめっこマネー事務局である登米市振興協同組合と協議し、市内道の駅での取り扱いを促してまいります。」と回答がありました。
	震災時の文化財の修復の際、地域住民にあまり負担がかからないように進めてほしい。	教育委員会 文化財文化振興室	担当部署へ確認したところ、「その時の状況に応じ、負担があまりかからないように検討します。」と回答がありました。